

会社説明会



敷地：約7万坪

中部鋼板株式会社

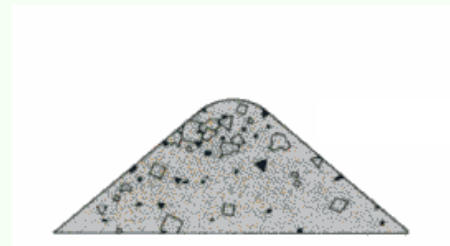
H19.3.1

会社紹介

本社 名古屋市中川区
資本金 5,907百万円
年商 480億円(H18年3月期)
従業員数 384人(H18.9末)
事業内容

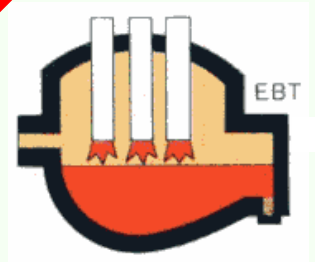
- 鉄スクラップを主原料とした厚中板鋼板の製造・販売
- 鋼板の加工・販売
- 医療廃棄物の焼却・溶融処理

【沿革】
 昭和25年 会社設立(本社 中区)
 昭和33年 中川区に本社移転
 昭和36年 名証2部上場
 昭和49年 名証1部上場
 平成10年 品質ISO認証取得
 平成18年 環境ISO認証取得



鉄スクラップ

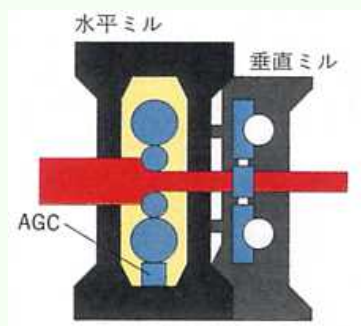
- ・国内唯一の電炉厚板専門メーカー
- ・多品種、小ロット、短納期
- ・日本最大の200トン電気炉を保有
- ・世界的にユニークな製鋼 - 圧延直結プロセス
- ・地球にやさしいリサイクル企業



製鋼工程



製品

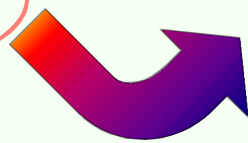
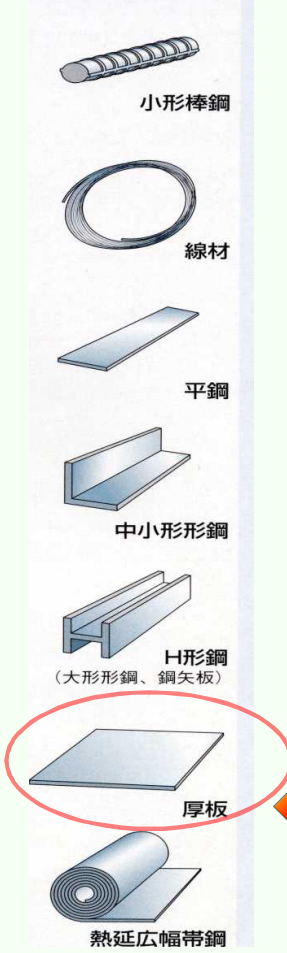


圧延工程

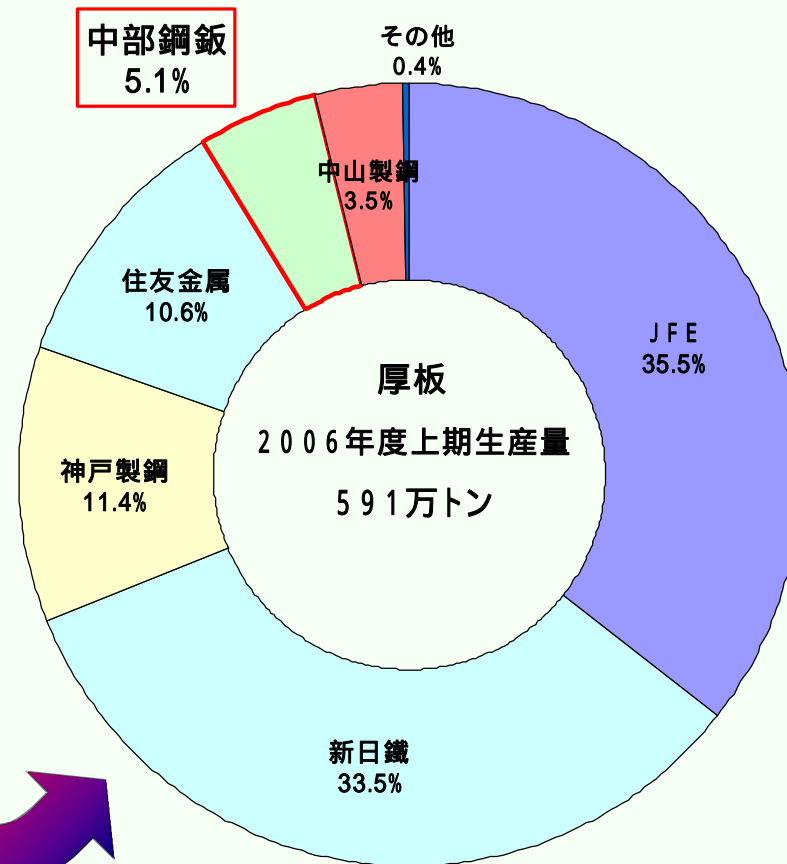


国内の厚板供給環境

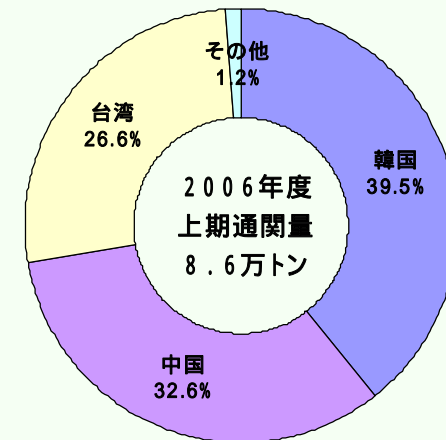
主な鉄鋼製品



国内生産

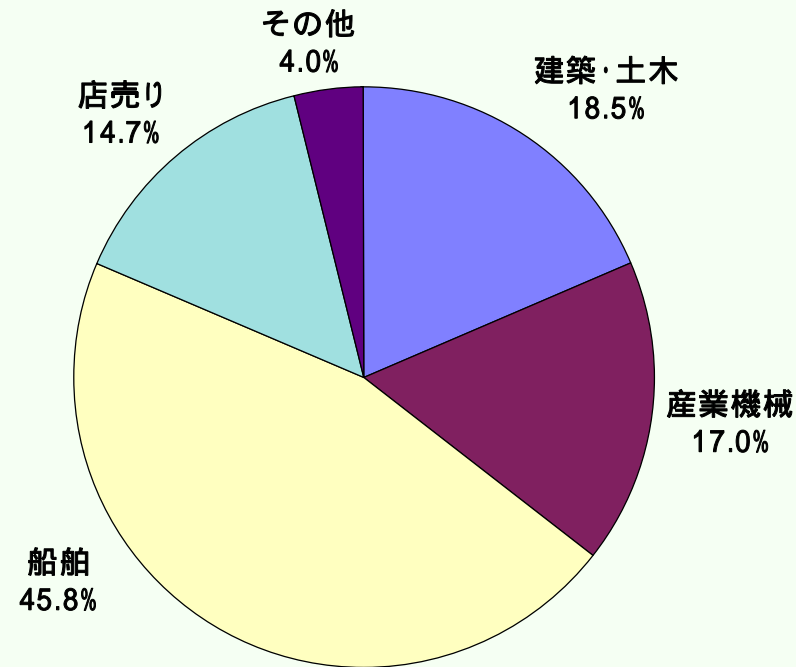


輸入厚板



厚中板 用途別国内受注の概要

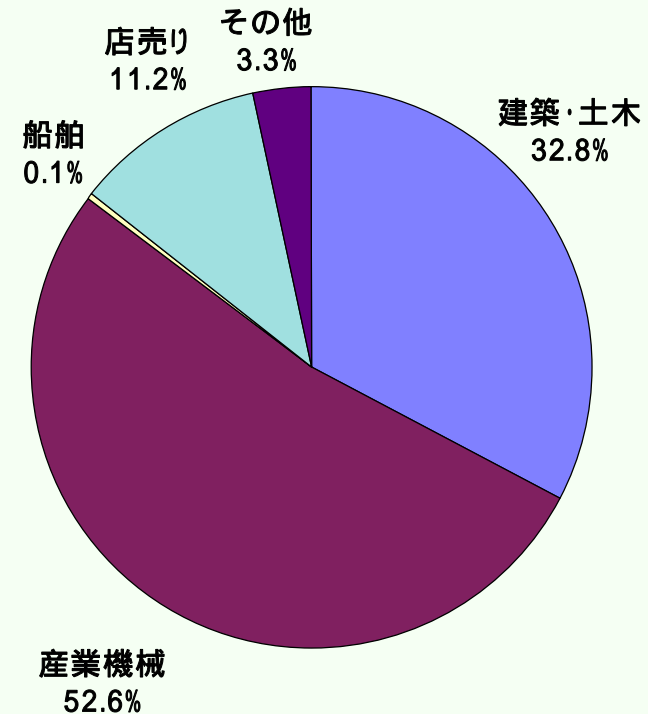
全国内需 (H18年度上期)



)統計上の用途別受注

月平均 (単位 t)					
建築・土木	産業機械	船舶	店売り	その他	合計
18.5%	17.0%	45.8%	14.7%	4.0%	100%

当社 (H18年度上期実績)



)当社独自の用途別受注

月平均 (単位 t)					
建築・土木	産業機械	船舶	店売り	その他	合計
32.8%	52.6%	0.1%	11.2%	3.3%	100.0%

出典 (社)日本鉄鋼連盟

当社材 使用実績例

東京ビル

所在地
東京都千代田区丸の内

物件概要
地下4階 地上33階 延べ床面積 150,000㎡

施主
三菱地所・JR東日本・東京三菱銀行

設計事務所
三菱地所設計

ゼネコン
鹿島建設JV

ファブリケーター
大川トランスティル・ヤマネ鉄工建設・白川・MCS 他

厚板使用量
SN490C 2,168t・SN490B 4,320t・SS400 127t

竣工
平成17年10月



東京ビル



JRセントラルタワーズ

JRセントラルタワーズ

所在地
名古屋市中村区(JR名古屋駅)

物件概要
ホテル棟 地下4階 地上53階
オフィス棟 地下4階 地上51階
中低層棟 地上18階
延べ床面積 417,182㎡

施主
JR東海

設計事務所
坂倉建築研究所・大成建設・JR東海JV

ゼネコン
大成建設 他10社JV

ファブリケーター
川田工業・灌上工業・川岸工業・日本車両製造・
駒井鉄工・宮地鐵工所・エモト・岩永工業他

厚板使用量
SM490A 1,860t・SS400 100t

竣工
平成11年12月

汐留住友ビル

所在地
東京都港区

物件概要
地下3階 地上25階 延べ床面積 99,900㎡

施主
住友生命・住友不動産

設計事務所
日建設計

ゼネコン
鹿島建設JV

ファブリケーター
駒井鉄工・川田工業・川岸工業・大川トランスティル・
エムシーメタルテック・MCS・巴・住金ED

厚板使用量
SN490B 5,303t・SN400B 86t・SS400 448t

竣工
平成16年3月



汐留住友ビル



JR四国5000系マリンライナー

写真提供: 東急車輛製造㈱

JR四国5000系マリンライナー

製造
東急車輛製造

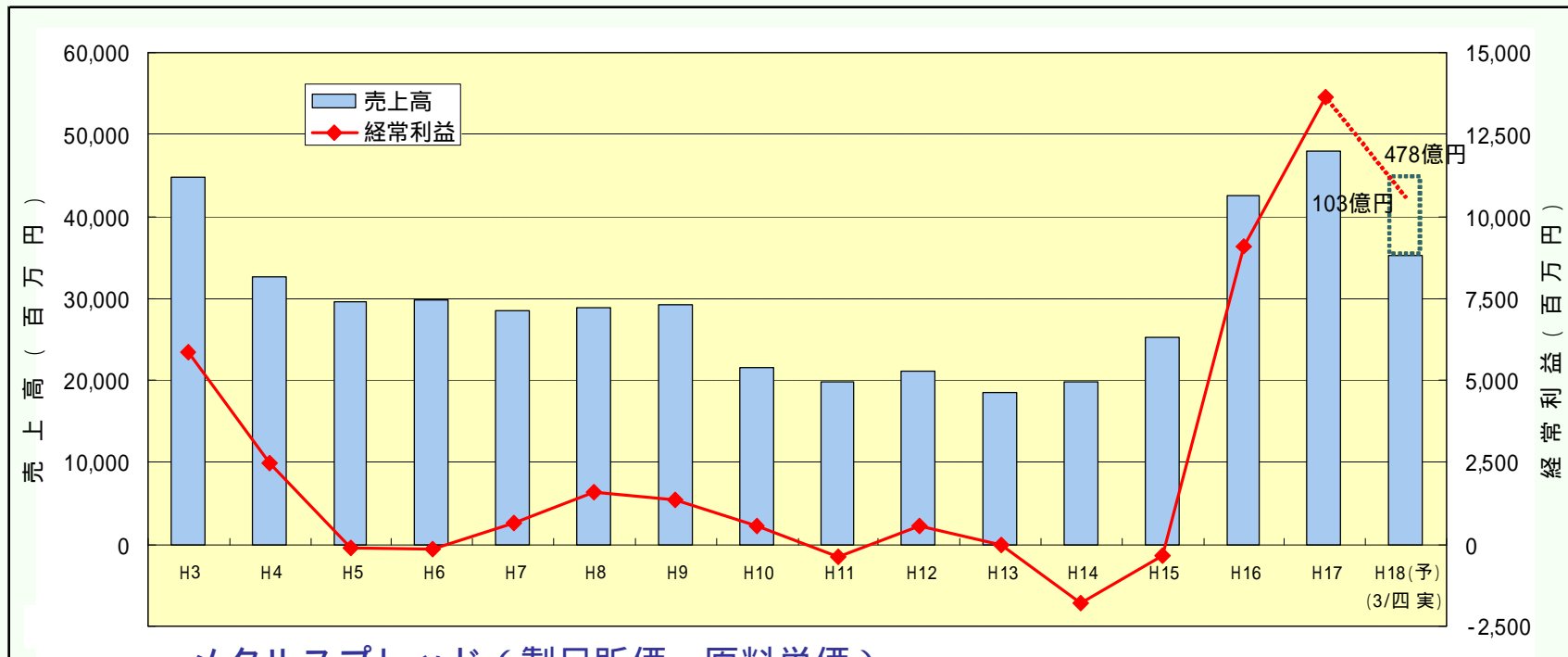
車両型式
JR四国5000系(マリンライナー)

使用規格
SMA490BP・SMA490AP・SM400B

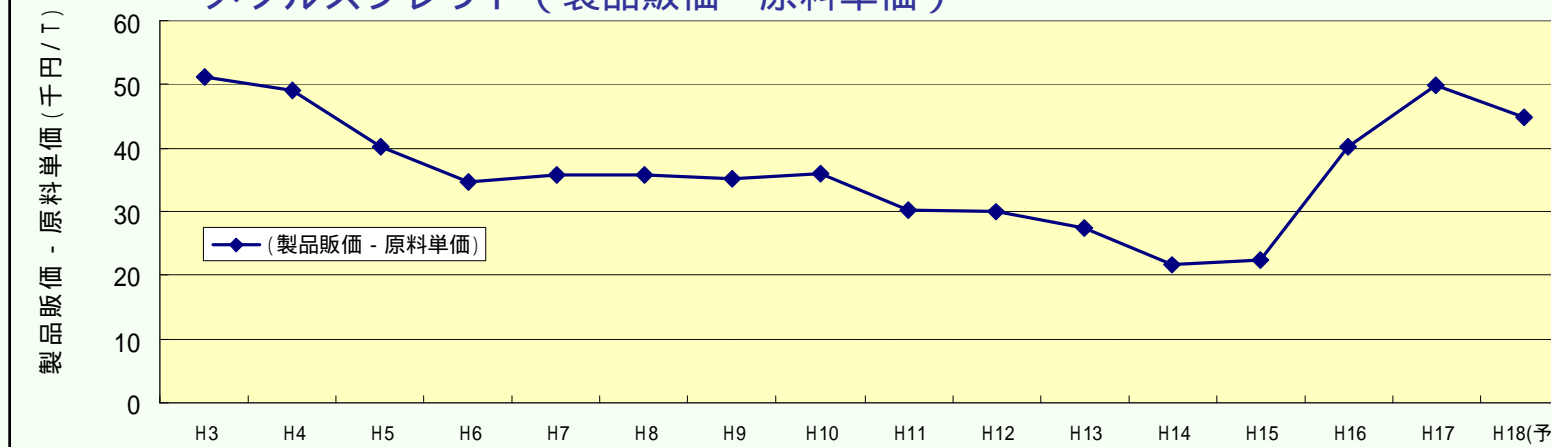
板厚
9ミリ

使用部位
2階建て車両床部、車輪周り

実績推移およびH18年度通期見通し（単独）



メタルスプレッド (製品販価 - 原料単価)



今後の短期的需給観測

【厚板環境】

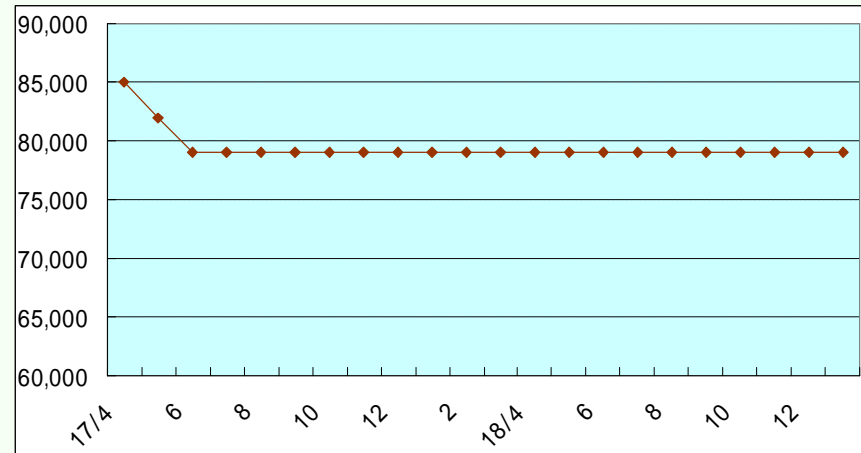
- ・ 平成18年の厚中板生産量は約1,160万トンと前年並みの高水準をキープ。
- ・ 自動車・造船・建産機など需要産業の好調を背景に国内の厚板環境はタイトな状態が続いている。
- ・ 今後、中国からの供給圧力が懸念材料なるも引き続き需給はタイト、販価の上昇が見込まれる。

【鉄スクラップ環境】

- ・ 昨年の11月以降、電炉メーカーの旺盛な需要と、高炉メーカーによる冷鉄源の調達ニーズ、更には韓国を始めとするアジアでの需要の高まりにより、相場は急進した。
- ・ 鉄屑H2(標準)価格は3地区平均で昭和55年以来の3万円台に限りなく近づいてきており、当面起伏の弱い高原状態での推移が予想される。

厚板市況 鋼板の小売価格

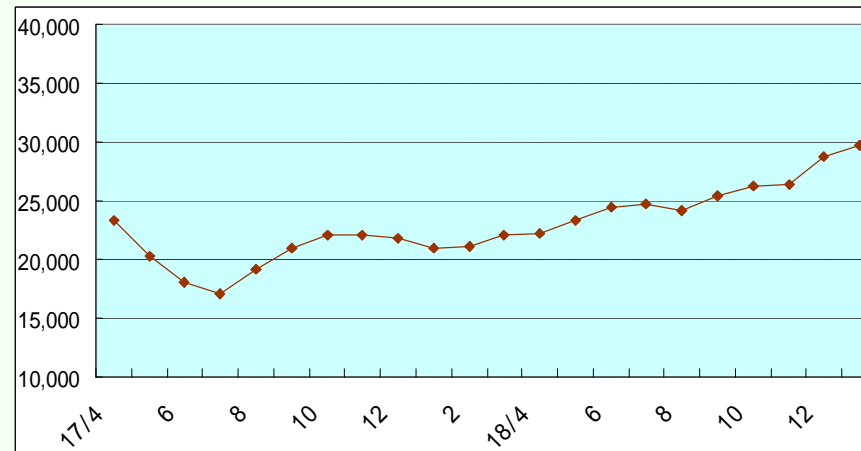
単位 円/トン



出所: 鉄鋼新聞 「一般鋼材 シャー母材 国内品 月末 東京 安値」

鉄スクラップ市況

単位 円/トン

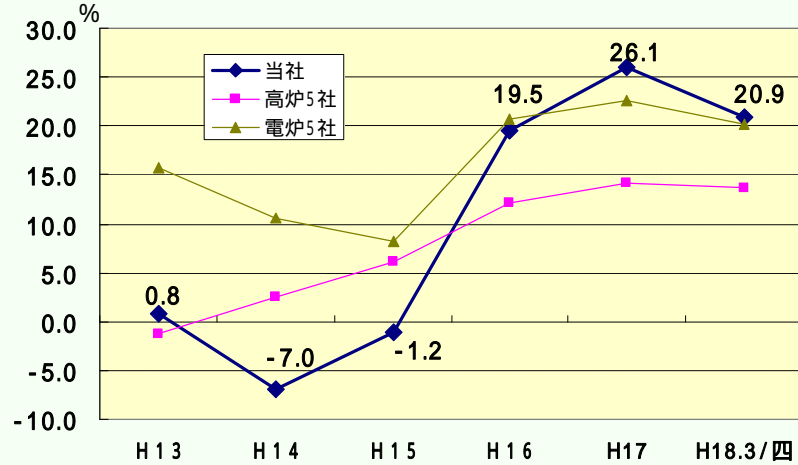


出所: 日本鉄源協会 「H2 メーカー炉前価格 関東・中部・関西3地区平均価格」

連結指標データ

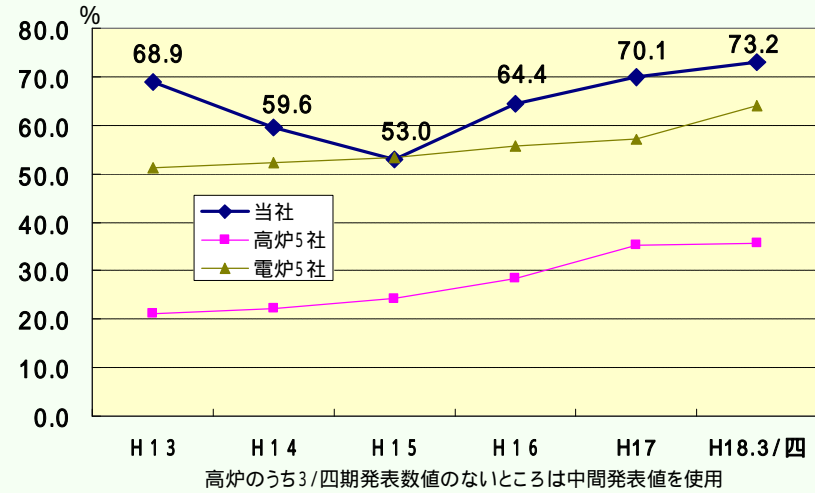
収益力

売上高経常利益 (ROS)



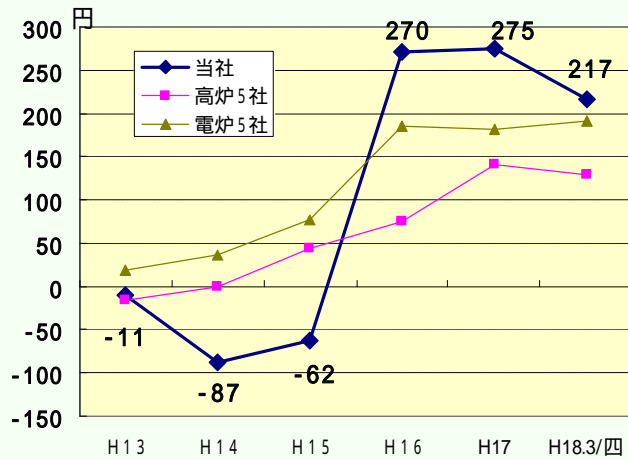
安全性

自己資本比率



株式価値

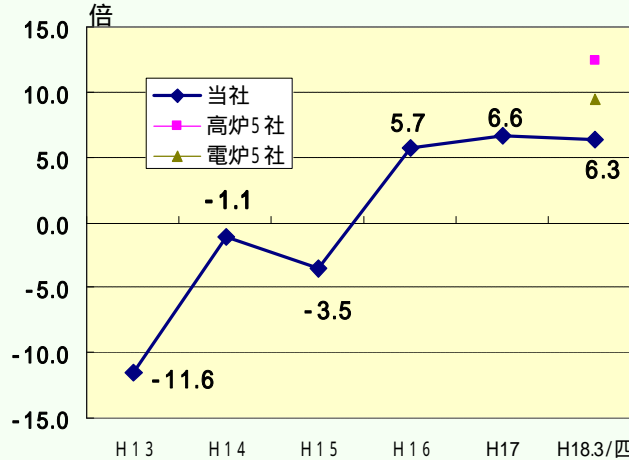
1株当りの純損益 (EPS)



3/四期利益を0.75で割り戻して計算している

株価パフォーマンス

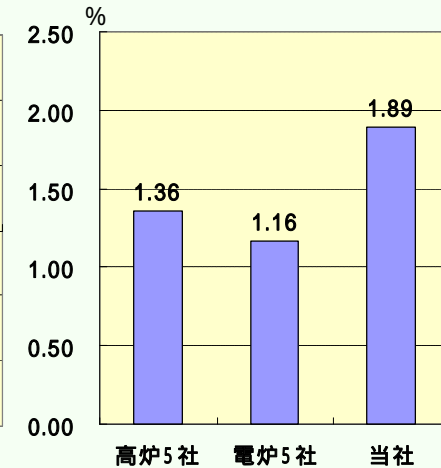
株価収益率 (PER)



3/四期利益を0.75で割り戻して計算している
株価は18年12月末終値を使用

株主還元

配当利回り



各社発表H18年度配当額 (下期未発表社は上期×2)
株価は18年12月末終値を使用

最近の当社の取組み状況

中期経営計画 (H18年度～H20年度)

1. 安定的な収益力の確保
 連結売上高 520億円
 連結経常利益 105億円
 連結ROS 20%以上
2. 戦略部門への経営資源集中投入
 100億円 / 3年間
3. コストダウン
 生産の効率化
 省エネ、省力化
 歩留向上
4. 攻めの購買・販売戦略の展開
 販売数量の確保
 高付加価値品比率アップ
5. グループ経営強化
 子会社売上高寄与率アップ
6. 株主価値の向上
 安定的な配当に意を払いつつ
 業績に見合った弾力的な配当
7. 財務体質の強化
 実質無借金経営の確立

最近の当社の動き

- <環境に左右されにくい基盤づくり>
- 03年 スラブ連続鑄造機の更新
 製鋼 - 圧延直結化、短納期の実現
 - 06年 スクラップヤード拡張
 原料購入価格の安定化
 - 07年 圧延工場建屋増築
 圧延下工程の増強
- <他社との連携>
- 07年1月 新日本製鐵(株)との業務提携
 - (1) 両社の生産設備の相互有効活用 (各製品の製造受委託等)
 - (2) 生産、設備修繕、原料調達、製品物流面でのコストダウン推進のための相互協力
 - (3) 当社圧延ライン基盤整備に対する新日鉄によるエンジニアリング協力
- <経営資源の集中化>
- 05年12月 ゴルフ練習場閉鎖 跡地に圧延工場増設
 (子会社 中鋼企業(株)を休止)
 - 07年1月 冷凍豆腐事業からの撤退
 (子会社 (株)マメックスを売却)
- <株主価値の向上>
- 07年1月 下期配当予想の修正
 12円 14円 (年間26円)
 - 当期の業績が高い水準を見込めること、財務体質も改善されつつあることから、株主への利益還元を図る
- | | | |
|----------|--------|-------|
| | H17年度末 | 今3/四期 |
| 自己資本比率連結 | 70.1% | 73.2% |



スラブ連続鑄造機



スクラップヤード拡張

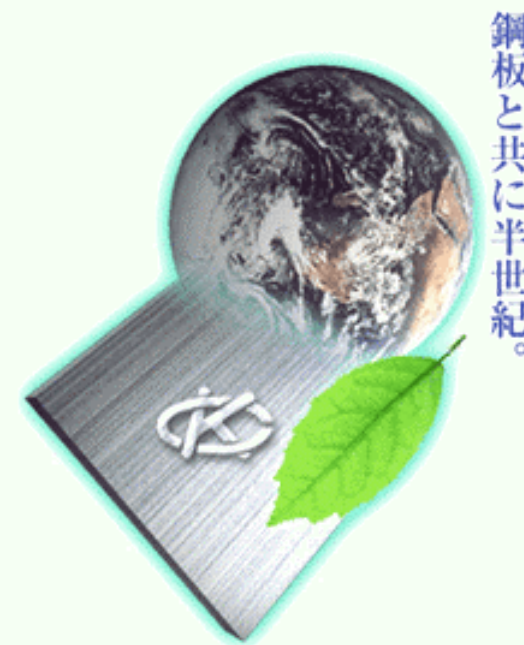


圧延工場建屋増築



2000tプレス機(新建屋内)

本日はお忙しい中、当説明会へご参加いただきまして、誠にありがとうございました。



鋼板と共に半世紀。

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会の時点で入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。